

KT-1201_ml ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは、以下の車種に対応します。
・近鉄1201系(2015年発売)
・近鉄6600系
※近鉄1200系(2009年発売)は、ヘッドライトが塗装表現なので非対応としますが、ヘッドライトレンズを工夫すれば取り付け可能と思われます。
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(テラツキ対策を施しています。)

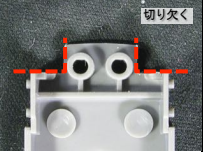
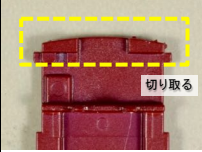
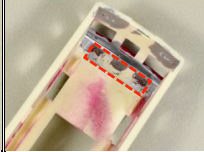
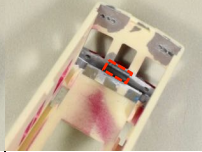
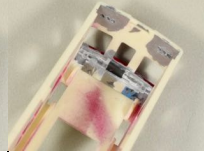
⚠️注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。

【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。
【ライトユニット】
・ヘッドライトユニット : 1個/セット
・テールライトユニット(兼通過標識灯ユニット) : 1個/セット
・尾灯・標識灯レンズ穴確認用エンビ棒 : 1本/箱
【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直している導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
・カッティングマット
・ピンセット
・ニッパ
・プラスチックヤスリ
・両面テープ
・木工ボンド
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラビー」など)
・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
・楊枝、綿棒など
・ピンバイス(0.3mm, 0.4mm, 0.5mm)
・精密ヤスリ(針ヤスリ、丸、平など)
・ゴム系接着剤
・プラモデル用接着剤
・直定規
・塗装面を保護する柔らかい布
・ポンチ(プッシュピンなどでも可)
・サンドペーパー
・マスキングテープ
・瞬間接着剤
・遮光用の塗料(黒及び銀)

●取り付け手順

1. 分解する				
1-1 床板を外す	1-2 側窓を外す	1-3 屋根を外す	1-4 前面透明パーツを外す	1-5 貫通幌を外す
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	側窓を、前面透明パーツとの噛み合部をコジって外します。	天井面サイドのツメを楊枝などで押して、屋根を外します。	前面透明パーツを、ボディとの隙間を精密ドライバーなどでコジって外します。	貫通幌のある車両は、ツメを内側から楊枝などで押して外します。
2. 車体を加工する				
2-1 側窓の固定リップの一部を切り取る		2-2 尾灯・標識灯の穴を開ける		
				
天井両サイドの側窓を固定するリップの、前端約1mmを切り取ります。		尾灯・標識灯の中心にポンチで印を付けます。		
		まず0.3mmのピンバイスで下穴を開け、次いで0.4mm、0.5mmと穴を広げます。その後、針ヤスリなどを使って穴を長方形に広げます。ボディ内側の方が広いテーパー状になるよう心がけます。ライトケースのモールドを傷つけない様にするため、多少凸凹の穴でも目立ちません。確認用のエンビ棒が抵抗なく通ることを確認します。		
(2-2つづき)		2-3 ライト周辺を遮光する	2-4 前面透明パーツを加工する	
				
左右の尾灯・標識灯、計6個の穴を開けます。		ヘッドライト周辺、尾灯周辺のボディ内側とレンズの穴の中を銀の塗料(エナメルを推奨)で遮光します。	前面透明パーツを、前面窓の直上で切断します。前面窓の上側をヤスリで整えます。	切り取ったヘッドライトレンズ部分を、レンズの直下で切断し、レンズに横に細長い抜け止めが付いたパーツに加工します。残った中間部分は使用しません。
3a. 動力ユニットの加工 (動力ユニットを組込む場合)				
2-5 貫通幌を加工する	2-6 側窓を加工する	2-7 屋根を加工する	2-8 スカートを加工する	
				
貫通幌のある車両の場合、貫通幌の上側のツメを、2mmから1mmに切り詰めます。固定が緩くなるので、取り付けの際はゴム系接着剤を併用します。	側窓前端上側を、乗務員扉窓の後ろ上の角より、四角く切り取ります。また下側を、乗務員扉窓の前下の角を通る45度の線で、切り取ります。	屋根板先端の固定用の2つのツメを、天井の下側に飛び出さないよう、ツメ部分を切り詰めます。	スカートの両サイドのツメのうち、窪みより上の部分を切り取ります。固定は、ダミーカブラー胴受け部のツメを利用し、ゴム系接着剤を併用します。	動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取り付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。

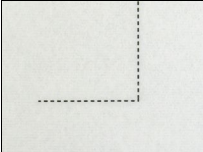
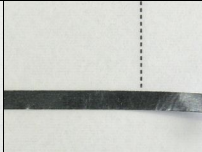
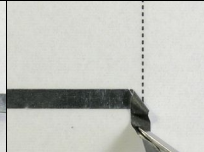
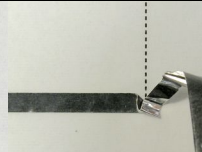

3b. 床板を加工する (トレーラー車の場合)		4. ライトユニットを取り付ける		
4-1 ヘッドライト周辺の開口部を塞ぐ		4-2 ヘッドライトレンズをはめる		
				
床板前端的の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカバーの取付け穴まで、線路方向はTNカバーの台座の手前まで切り欠きます。	シート前端的の幅の広がっている部分(約2mm)を切り取ります。	3mm × 12mmのポリエステルテープを用意し、天井前端的の3つの穴を塞ぎます。	貫通鏡のある車面の場合、2mm × 5mmのポリエステルテープを用意し、貫通鏡の上側の取付け穴を塞ぎます。	ヘッドライトレンズをはめ、両面テープで固定します。グラつく場合は、少量の瞬間接着剤を併用します。

4-3 ヘッドライトユニットの取付		4-4 ヘッドライトユニット周辺を遮光する		4-5 前面窓をはめる	
					
ライトユニットをはめ、両面テープで固定します。	3mm × 9mmのポリエステルテープを2枚用意し、ヘッドライトユニットのツバと車体側面、及び側窓固定窓部分は、切り込みを入れ、窓の断面に貼ります。	3mm × 6mmのポリエステルテープを2枚用意し、ヘッドライトユニットのツバと側窓固定用リブ、及びライトユニット基板の間に貼ります。	3mm × 6mmのポリエステルテープを2枚用意し、ヘッドライトユニットのツバと側窓固定用リブ、及びライトユニット基板の間に貼ります。	前面窓をはめ、両面テープで固定します。この段階で点灯テストを行い、光漏れがある場合は、ポリエステルテープを重ね張りするなど対策を施します。	前面窓をはめ、両面テープで固定します。

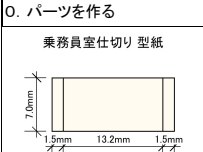


5. 配線する					
4-6 テールライトユニットの取付		5-1 側窓をはめる	5-2 ヘッドライトへ配線する	5-3 テールライトへ配線する	
					
テールライトユニットをはめ、両面テープで固定します。	側窓をはめ、両面テープで固定します。	1.5mm × 約35mmのアルミテープを使って、ヘッドライトの給電パッドから側窓下までL字形に配線します。屈曲部は、欄外の記事を参考に折り曲げます。余ったテープは切り捨てます。※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	ヘッドライト給電パッドの通電の確実を期して、3mm × 5mmのアルミテープを重ね貼ります。余ったテープはユニット後側に折り曲げます。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	1.5mm × 16mmのアルミテープで、側窓下部からテールライトの給電パッドまで配線します。※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。	1.5mm × 16mmのアルミテープで、側窓下部からテールライトの給電パッドまで配線します。※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。

(5-3つづき)		5-4 側窓下の凸部にアルミテープを貼る		5-5 側窓下をアルミテープで結ぶ	
					
テールライト給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 3.5mmのアルミテープを重ね貼ります。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。		床板との嵌合部の凸部に、5mm × 5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。車体の四隅の嵌合部に貼ります。		室内灯も取付ける場合は、この作業は室内灯の取り付け後に行ないます。3mm × 120mmのアルミテープを使って、側窓下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部を接続するように貼ります。※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。	

●テープを折り曲げながら貼る

				
L字形にテープを貼ります。	一辺を貼ります。	曲がり角で、一旦反対側に曲げます。	向かいたい方向に、再度曲げます。	よく押さえて完成です。

●乗務員室仕切りを取付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
 <p>乗務員室仕切り型紙</p> <p>7.0mm 1.5mm 13.2mm 1.5mm</p>		
0.5mmのプラ板でパーツを作ります。(遮光に適した黒いプラ板を分売しています)	乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の後寄りに、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。	乗務員室仕切りを、棧の前側に設置します。

